

【奨励賞】

振り込め詐欺“ゼロ”の未来へ ～Fintech を用いた詐欺撃退戦略～

成城大学	社会イノベーション学部	伊藤 隆成
	〃	川原 準貴
	〃	小林 あかね
	〃	中村 夏月

(要旨)

振り込め詐欺被害は依然増加しており、大きな社会問題となっている。我々は、当問題への処方箋を探すべく、警察署や金融機関へのヒアリング、独自の意識調査、人工知能・画像認識の専門家・技術者との意見交換を行った。その結果として、FinTech で注目される最先端技術を用いた新しい詐欺撃退戦略を提案する。

主な施策としては、以下の3つが挙げられる。

- ① 電話機に音声認識機能を搭載することにより、発信者の本人確認の確度を向上させる。
- ② 銀行には、ATM における顔認識技術や静脈認証の導入や、取引履歴に関するビッグデータの活用を求める。
- ③ 行政には、口座に対するマイナンバーの登録義務化前倒しを求める。

これら最先端技術の活用と産官民一体の取り組みによって、振り込め詐欺を確実に減少させることが可能となり、国民が安心して利用できる金融システムが構築できる。